

第 64 回卒業証書授与式

3月1日、熊谷嚶鳴後援会会長様、鈴木嚶鳴同窓会会長様、沼澤嚶鳴PTA会長様、吉田前校長様をはじめ、多くの御来賓の方々の御隣席をたまわり、山形西高等学校第64回卒業証書授与式が厳かに挙行され、226名が学び舎を巣立っていきました。

「卒業証書授与」では、担任の呼名に「はい！」と大きな返事が返り、全生徒一人ひとりが校長から卒業証書を受け取りました。返事の大きさが西高生としての矜持を現していると感じました。

三澤校長は、「一步踏み出す勇気を持ち自分が求めるものに向かって進んでほしい。そして責任のある立場に立って、地域や社会の発展のために力を尽くしてくれる人がたくさん出てくれることを期待している。また、人との出会いとつながりを大切に。」と式辞を贈り、熊谷会長様は、平昌オリンピックのNHKのテーマソング「サザンカ」(SEKAI NO OWARI)の歌詞を朗読し、つまずいたとしても立ち上がる限り物語は続くことを伝え、最後に恒例の“Girls, be ambitious!”で激励していただきました。

続いて、現校友会会長の菅詩織さんが在校生を代表して卒業生への感謝の気持ちを贈り、卒業生を代表して廣谷果奈美さんが、「たくさんの友人と出会えたことは一生の宝物。感謝の気持ちが生きる原動力となるはず。次代を作る責任を果たしたい。また、父母へのこれまでの支えに感謝し、立派になって必ず親孝行する。」と声を詰まらせながら決意を述べてくれました。

校歌合唱、「揚げば尊し」、「蛍の光」の唱歌では、西高ならではの美しい歌声に心も透き通るような気持ちになり、荘厳な雰囲気の中、生徒たちは新たな決意を胸に次のステージへと巣立っていきました。

卒業おめでとう 皆さんの前途に幸多かれと祈ります。

